

事務事業名		観光宣伝誘客事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業						
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間		予算科目						
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興						会計	款	項	目	事業		
	基本事業名	01 観光客の誘客と観光宣伝の充実						01	07	01	04	06		
根拠法令														
所属	部課名	商工港湾部商業観光課												
	課長名	鈴木 弘												
	係名	観光物産係	電話	0192-27-3111										
	担当者	松川 直史	内線	116										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
大船渡市の観光(名所・風景・体験メニュー・食・イベント・宿泊施設等)をPRし、多くの観光客を大船渡市に誘致するため、観光パンフレットや観光ポスターの作成や情報発信等様々な事業を行う。 主な業務は、①年間の行事予定検討、②ポスターの企画コンペ・作成(委託)、③観光パンフレットの企画コンペ・作成(委託)、④電話の照会対応(観光客、旅行代理店等)、⑤市ホームページの情報更新。 事業費は、ポスター、パンフレットの印刷・製本等費用に支出される。 また、大船渡市物産協会に対し観光客誘致拡大助成事業補助、大船渡商工会議所に対し千石船管理運営補助を行っている。										総 投 入 量 (千円)	事業費	財 源 内 訳	国庫支出金	
													都道府県支出金	
													地方債	
													その他	
													一般財源	
													事業費計(A)	0
人件費	正規職員従事人数													
	延べ業務時間													
	人件費計(B)	0												
	トータルコスト(A)+(B)	0												

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標											
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 観光パンフレット及び観光ポスターの作製、ホームページの更新、観光客からの観光地や宿泊地の問合せへの対応、雑誌等取材対応等。				⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
				名称					単位		
				ア	観光パンフレット・リーフレット作製部数					部	
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年実施と同様				イ	観光ポスター作製枚数					枚	
				ウ	ホームページ更新件数					件	
				⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)							
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・潜在的な観光客				名称					単位		
				カ	全国の人口					万人	
				キ							
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・大船渡市内の観光スポット・イベント等を紹介し、出来るだけ多くの観光客に大船渡市を知ってもらおう。 ・大船渡市内の宿泊施設や交通アクセスを知ってもらおう。				ク							
				⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)							
				名称					単位		
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ①大船渡市を訪れる。 ②魅力がPRされ、認知度が高まる。				サ	観光入込客数(年実績)					千人	
				シ	市の観光に関するホームページ閲覧件数					件	
				ス							
(2) 総事業費・指標等の推移											
投入量	事業費	財 源 内 訳	国庫支出金	単位	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	4,450	3,816	3,306	5,186	5,486	5,486	
		事業費計(A)	千円	4,450	3,816	3,306	5,186	5,486	5,486		
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2		
		延べ業務時間	時間	150	150	150	150	150	150		
		人件費計(B)	千円	600	600	600	600	600	600		
		トータルコスト(A)+(B)	千円	5,050	4,416	3,305	5,186	5,186	5,186		
	⑤活動指標		ア	部		30,000	55,000	40,000	50,000	50,000	5,000
			イ	枚		800	0	0	700	700	700
			ウ	件		30	50	30	100	100	100
⑥対象指標		カ	万人		12,763	12,752	12,722	12,722	12,722	12,722	
		キ									
		ク									
⑦成果指標		サ	千人	データなし	1,016	1,020	1,100	1,100	1,100		
		シ	件	データなし	15,317	11,245	20,000	20,000	20,000		
		ス									

事務事業ID	0443	事務事業名	観光宣伝誘客事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 事業開始年度は不明であるが、昭和39年に陸中海岸国立公園に基石海岸が編入されたことを契機として、観光ポスターやパンフレットの制作と配布を行ってきた。以降、県内外の観光施設や岩手県の出先機関等を設置するようになった。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 東日本大震災により、市内の観光産業や観光施設の多くが被災したため、従来の観光受け入れが難しい状況となった。また、発災直後、被災地への観光を控える動きがあり、純粋な観光客数は皆無であったが、震災から3年が経過し、三陸沿岸一帯への観光客数は回復傾向にある。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 大船渡市を訪れる観光客等から、ホームページの充実と市内全般(基石海岸など)で観光客に対する誘導案内が足りないとの声が寄せられている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】	まつり開催運営支援事業、観光施設整備事業、広域連携推進事業 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

事務事業ID	0443	事務事業名	観光宣伝誘客事業
--------	------	-------	----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	この事業は、観光情報等を求める観光客等に対し、サービスを提供する業務であり、大船渡市のイメージアップと観光客の誘致を図るためには重要な事業であり、適切な業務運営がなされている。																					
② 有効性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり																						
③ 効率性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり																						
④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 部分的に可能なものは一般社団法人大船渡市観光物産協会に移管する方向で検討する(財源委譲含み)。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td>●</td><td></td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	●		×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
この事業を大船渡市観光物産協会に移管することが現実的に可能かどうか(現在の協会の体制で出来るか)、可能な場合、事業費を運営補助金の中に入るか等について検討し、可能かつ効率と判断されるのであれば部分的に協会に移管していく。																							

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)																							
2次評価者	商業観光課長 鈴木 弘																						
(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																							
☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている																							
②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																							
☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	SNSを含め、より効果的な情報発信の充実を図ることで、成果の向上が期待できる。																					
② 有効性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり																						
③ 効率性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・平成26年度に策定予定の大船渡市観光ビジョンに基づき、市観光物産協会等との推進体制を構築しながら、具体的な施策を展開していく。		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td>○</td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○	●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	○	●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 政策推進会議等での指摘事項